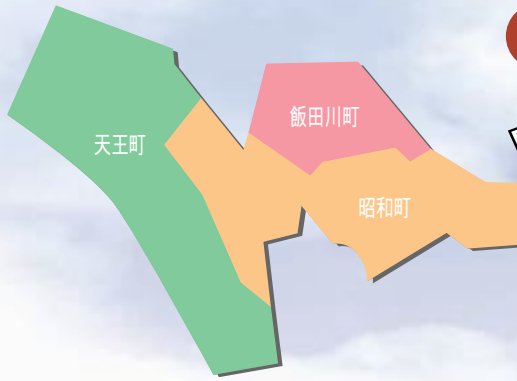


天王町・昭和町・飯田川町



# 合併協議会だより

第6号 2003年11月

新市  
まちづくり  
基本目標

環境と調和し快適で安らぎのあるまち



新市名称

事務所の位置

財産の取扱い

は、

# 小委員会等で協議調整へ

平成十五年十月二十四日(金)天王町立図書館において、第五回合併協議会が開催されました。協議会には、委員等十九名が出席し、約五十人が傍聴しました。はじめに石川会長は「基本五項目の内、三項目についてがまだ決定には至っていないが、議論を尽くして一歩でも二歩でも前に進みたいと考えている」とあいさつ。続いて、協議会委員の定数及び任期の取扱いなど五項目と継続協議となっていました新市の名称など三項目の協議が行われました。



協議事項

《継続協議》  
新市の名称について  
(名称の決定方法の確認)

《継続協議》  
新市の事務所の位置について  
(合併時の事務所の位置の確認)

《継続協議》  
財産の取扱いについて  
(財産及び債務の取扱い)

「新市の名称」「新市の事務所の位置」「財産の取扱い」の三件については、委員から「これまで十分議論を尽くしてきた。一歩でも前に進むために、三町の町長及び協議会議長からなる小委員会を設置して調整案を検討し、協議会へ諮ったかどうか」との提案があり確認しました。

りました。これを受けて正副会長は「この問題を打開するための小委員会の設置であり、今が最適な時期だと思う。民意を尊重しながら調整案の土台となるものを小委員会で話し合い、協議会に諮りたい」との考えを示し、三町の町長及び協議会議長からなる小委員会を設置することを確認しました。

協議事項  
議会議員の定数及び任期の取扱いについて

(小委員会の設置について)

協議事項  
農業委員会委員の定数及び任期の取扱いについて

(小委員会の設置について)

議会議員及び農業委員会委員の定数及び任期の取扱いの二件は、「協議会委員による小委員会を設置し、定数及び任期について調査・検討し、協議会へ諮る」とする調整案で、関連があることから一括上程し、協議しました。

協議では、「小委員会を設置せず、協議会で決定すべき」「それぞれの議会に持ち帰り、検討することが必要である」「協議会委員はそれぞれの町の代表であり、協議会で決定したものをもって各町の議会に説明すべき」など意見が分かれ、継続協議としました。

## 一般職の職員の身分の取扱いについて

一般職の職員の身分の取扱いについては、次のとおり確認しました。

一般職の職員は、市町村の合併の特例に関する法律第九条により、すべて新市の職員として引き継ぐものとする。職員数については新市において「定員適正化計画」を策定し、「定員管理の適正化に努めるものとする」。職員の職名・職階については、人事管理及び職員の処遇の観点から合併時に統一する。職員の給与については、職員の処遇及び給与の適正化の観点から調整し、合併後速やかに統一を図る。

## 特別職の身分の取扱いについて

特別職の身分の取扱いについては、次のと

おり確認しました。特別職の設置・人数・任期については、法令等の定めるところによる。法令等の定めがない場合は、新市において調整する。特別職の報酬については、現行の報酬額及び類似団体の報酬額を参考に調整する。

## 平成十五年度合併協議会補正予算(案)について

補正予算(第一号)は、歳入歳出それぞれ二、六二六千円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ二九、一七五千円とすることを原案のとおり確認しました。

補正予算の主な内容は、任意協議会解散による決算上の剰余金を繰入れたことなどにより、三町の負担金をそれぞれ一、五五八千円減額するものです。



## 提案

(次回十一月十四日協議事項)

条例、規則等の取扱いについて  
一部事務組合等の取扱いについて  
町名、字名の取扱いについて  
消防団の取扱いについて  
指定金融機関、支払い等に関する業務の取扱いについて

# 住民説明会を開催

## みんなで作る新市将来の姿

九月二十四日から十月十六日にかけて、三町十二か所の会場で住民説明会が開催され、合併協議状況と「新市将来構想」が説明されました。説明後の質疑・意見交換における、住民の皆様からの新市まちづくりに関する貴重なご意見、ご要望等は、今後の建設計画に反映していきたいと思っております。今号では、住民説明会での主な質疑応答について紹介いたします。

～このような質問ができました～

問 県内でも、名前や庁舎のことで離脱する市町村もあるが、そのようなことのないよう進めてほしい。

答 住民アンケートでの合併するという民意が六〇～七〇％あり、これを尊重し、譲り合いながらまとめていかなければならない。

問 新市の名称を一般公募して早く決めてほしい。

答 公募し、小委員会候補を絞り、合併協議会で決定することは決まっている。応募基準について「三町の名称を使用しない」、「三町の名称は使用できる」で意見が平行線をたどっている。こころ、二回で決めたい。

問 市になった場合、その下に天王、昭和、飯田川の現町名は使えるのか。

答 可能である。秋田市・河辺町・雄和町合併協議会では秋田市河辺、秋田市雄和とすることが決まっている。

問 新市の名称は全く新しいものを使った方がよいのでは。

答 新市に最もふさわしい名前を考えるために公募する。人気投票でないから応募数が一位のものを選ぶとは限らない。

問 合併して分庁方式になるというが、役場の窓口はどうなるのか。また、市長はどこにいるのか。

答 各役場に総合窓口センターを設置するため、窓口サービスは現在と変わりなく受けられる。市長は事務所的位置と決まった庁舎にすることに。

問 合併しなくても町単独でいけるのか。

答 合併を検討するに際し、財政シミュレーションを行ったが、財政調整基金を取り崩しても町単独でいくことは困難。

問 財政が大変ということで合併するのに特例債で借金するのはおかしいのではないか。

答 全部借金ではなく、七〇％が交付税算入され、三〇％が自己負担となる。特例債の



天王町公民館

らないよう配慮し、地域の伝統や文化がうまく継承されるような施策を実施していく必要がある。

問 議員の人数を適正な数にしてほしい。

答 三町の議員定数は現在合わせて五十四人であるが、合併により二十六人以内となる。ただし合併当初は特例措置があり、現在協議中である。

問 合併後の議員定数が二十六人以上になった時点で選挙区は全市か。

答 公職選挙法では小選挙区も可能だが、全国的にあまり例はない。

問 税率や介護保険料などは各町で違うようだが、合併すると一律になるのか。

答 住民税、固定資産税などは全て同じ税率で変更はない。介護保険料、国民健康保険税については三町異なるが、その取扱いについて協議会で今後検討する。

問 子育て支援等の環境整備、高齢者に対するボランティア活動の体制づくりをしてほしい。

答 将来構想では「安心して楽しく健やかに暮らせるまち」を基本目標に各種福祉施策を積極的に進めていく。

問 これからの時代を担っていく、高校生などの若年層から意見をくみ取っていく方法はないのか。

答 広く各層から意見を聞くため、十五歳以上の方々にアンケート調査を実施している。

問 一部事務組合はどうなるのか。

答 湖南衛生処理組合と羽城中学校組合は、新市に引き継がれる。消防などその他の一部事務組合は、関係市町村の議会の同意が必要となるので、当面今ままでおろしと思われる。

問 財産区はどうなるのか。

答 今後、財産区の協議委員会などを開き検討していく。

問 合併した場合、市街化区域の線引きはどうなるのか。

答 一市三町による秋田都市計画から離れ、新市の独自の都市計画をつくりたいと三町



飯田川町飯塚児童館

長で県にお願いしている。県でも全国の例を参考にしながら要望に取り組んでいきたいとの回答であった。

～このような要望ができました～

下水道の整備

三町の歴史、文化を集合するような施設の整備

小学校の改築、集会所の整備

都市計画区域の線引きの見直し。  
老人福祉施設の整備



昭和町農村環境改善センター

# 活き生き36000の夢づくり

一人ひとりが輝く ひとと環境に優しい田園都市

## 講師プロフィール



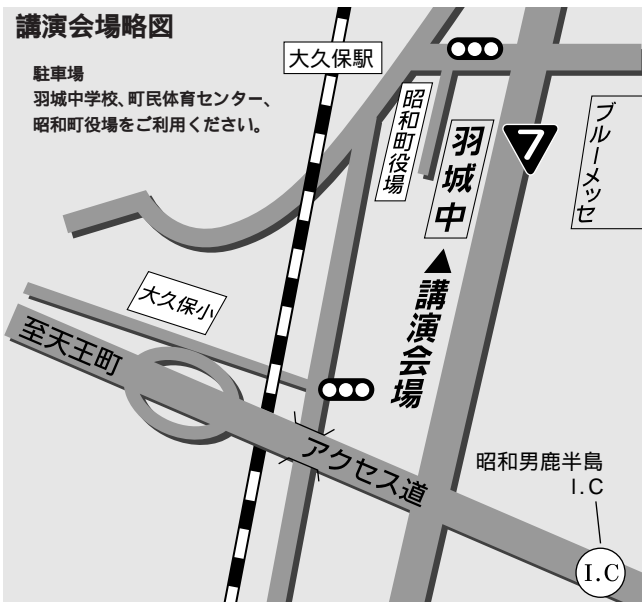
小西 砂千夫 教授

関西学院大学大学院経済学研究科 / 産業研究所教授  
 1960年9月生まれ 43歳  
 関西学院大学経済学部卒、博士（経済学）  
 （研究テーマ）  
 財政学、税、地方財政、市町村合併、財政投融资  
 （委員等履歴） 上記以外  
 財務省「財政制度等審議会専門委員」、総務省「地方  
 行政ビジョン委員会」、国土交通省などの各委員  
 （主な著書）  
 『地方財政改革論』（日本経済新聞社、2002年）  
 『市町村合併の決断』（ぎょうせい、2003年）など。

# 新市まちづくり講演会

とき 平成十五年十一月二十四日（月）午後一時三十分より  
 ところ 昭和町 羽城中学校視聴覚ホール（下記略図参照）  
 入場は自由ですのでたくさんのご参加をお待ちしております。

住民一人ひとりが合併後の地域のあり方を考える機会として、新市のまちづくりに関する講演会を開催します。  
 講師には、総務省市町村合併推進会議委員など国や多くの自治体の委員などで幅広く活躍されている関西学院大学の小西砂千夫教授をお招きしています。  
 合併は、住民一人ひとりに関わる大きな問題ですので、一人でも多くの皆様のご参加をお待ちしております。



## 新市まちづくりのための住民アンケートにご協力ありがとうございました

新市まちづくりのための住民アンケートを平成15年9月18日から平成15年9月29日まで3町の15歳以上の住民に対し、年代別男女別に約10%（合計3,100名）を無作為抽出し調査しました。

約1,380通の回答をいただきました。  
 なお、アンケートの結果等につきましては、まとまり次第お知らせします。

## 第一回新市建設計画検討委員会を開催

平成十五年十月二十七日（月）天王町福祉センターにおいて、第一回新市建設計画検討委員会が開催されました。  
 はじめに、石川会長が、「新市で取り組んでいくべき主要な事業について委員の皆さんから忌憚のないご意見をいただき、よりよい建設計画を作成したい」とあいさつ。  
 続いて、会長より各委員に委嘱状が交付され、委員長に

は天王町の佐々木吉和委員、副委員長には昭和町の加藤金一郎委員と飯田川町の鎌田善信委員が選出されました。  
 この委員会は、町から推薦された住民代表の委員からなり、建設計画案について検討提案していくものです。  
 会議は四・五回を予定しており、一月末をめどにとりまとめていきます。

## 計画の基本方針

### 計画の趣旨

本計画は、天王町・昭和町・飯田川町の合併後の新市建設を、総合的かつ効果的に推進することを目的とし、三町の一体性の速やかな確立及び住民福祉の向上等を図るとともに、地域の均衝ある発展に資するよう配慮して策定する。

### 計画の構成及び期間

本計画は、新市を建設していくための基本方針、それを實現するための主要事業、公共的施設の統合整備及び財政計画を中心に構成し、平成十七年度から平成二十六年までの十年の期間について定めるものとする。

### 計画の内容

「新市将来構想」をベースに、住民説明会や住民アンケートで出された意見や要望を反映させて、新市が実施する具体的な施策・事業を盛り込むものとする。



## 新市建設計画検討委員会委員名簿

石川 郁子	新野 建悦	宇瀬 敬子	鑑浪 セイ子	富田 常紀	鎌田 善信	飯田川町	吉澤 力ル	進田 敏幸	安藤 文明	川上 信英	加藤 金一郎	昭和町	佐々木 美奈子	加藤 裕一	古山 金悦	柏崎 重嗣	田口 吉昇	佐々木 吉和	天王町
-------	-------	-------	--------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	--------	-----	---------	-------	-------	-------	-------	--------	-----

# フォト・ギャラリー



▲天王町 天王小学校



▲天王町 出戸小学校



▲天王町 東湖小学校



▲天王町 追分小学校



▲昭和町 大久保小学校



▲昭和町 豊川小学校



▲飯田川町 飯田川小学校

## information インフォメーション

第6回合併協議会は、平成15年11月14日(金)午後2時から飯田川町役場正庁で開催します。

第7回合併協議会は、平成15年11月28日(金)午後2時から昭和町農村環境改善センターで開催します。

どなたでも傍聴できますのでお気軽においでください。